
開講科目名：管理会計論研究 (B) (2単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：中垣 昇

《授業の概要》

グローバル化の進展と情報通信技術の発達にともない、管理会計の技法が変化し、管理会計の新たな理論が求められている。さらに企業統治に対する関心が高まり、管理会計に対しても様々な課題が指摘されるようになった。

管理会計の学問分野は、激変する社会経済の動向と密接に関係するため、関連するトピックスや財務情報を提供する。これらを通して各自の考えをまとめるよう努力し、講義の進度に合わせて出す課題には積極的に取り組んで欲しい。

1. 活動基準原価計算
2. 統合的コスト・マネジメント
3. 品質管理と管理会計
4. 意思決定と管理会計
5. 全部原価計算と直接原価計算
6. 予算管理と利益計画
7. 研究開発・設備投資と管理会計
8. 資本予算：回収期間・純現在価値
9. 資本予算：内部利益率・収益性指標
10. 管理会計の新たな指標：NPV
11. 管理会計の新たな指標：EVA・NOPAT・BSC
12. 非財務情報と管理会計
13. 中小企業と管理会計
14. 事業再構築と管理会計
15. グローバル化と管理会計

[評価方法]

小テスト30%、期末レポート70%

《テキスト》

中垣昇『財務管理論の基礎(第7版)』(創成社)

《参考書》

G. シリングロー著、中垣昇・安永利啓訳『経営原価計算』(日本生産性本部)